



「あだち放課後子ども教室」は、地域の方々の協力を得ながら運営されており、子どもたちが自主的に活動する場です。

今月のテーマ **スタッフをやっている良かった…**

子どもたちが楽しく安全に過ごせるように、各小学校の地域や保護者の方たちが放課後子ども教室のスタッフとして活動しています。今回は、淵江小学校放課後子ども教室(以下「ふちえっこクラブ」)の子どもたちを見守るスタッフに話を聞きました。



● **保護者から感謝の言葉をかけられる！**

「町中で子どもから声をかけられることは以前からよくありましたが、最近では子どもが親に「スタッフさんだよ」と紹介してくれます」と話す坂田さんは、日々の運営やスタッフの活動をまとめるスタッフリーダー。保護者からは、「いつもお世話になり、ありがとうございます」「迷惑をかけていませんか」「子どもはふちえっこクラブが大好きです」など、感謝の言葉をかけられるそうです。ふちえっこクラブのことが保護者にも浸透してきたと実感している様子でした。



子どもたちの話を聞く坂田さん

● **気持ちを込めて接すると子どもたちは応えてくれます！**

「3年生も参加できるようになったとき、3人の子から『すごく楽しかったです。これからもよろしくお願ひします』とかわいい似顔絵入りのお手紙をもらいました」とうれしそうに話すスタッフの辻脇さん。「はじめは注意を聞いてくれない子も、だんだん聞いてくれるようになります。気持ちを込めて接していると、子どもは必ず応えてくれます」と熱い思いを語ってくれました。



図書室で子どもと話す辻脇さん

● **子どもの成長がうれしい！**

「ふちえっこクラブのスタッフをやるようになって、学校の外の活動でも子どもたちといろいろな話ができるようになりました」と笑顔で話すスタッフの五十嵐さん。「かわいい名刺や折り紙を作ってくれる子がいます。子どもの小さい頃からの成長を見ることができてとてもうれしいです」と目を細めて話してくれました。



一輪車で遊ぶ子どもを見守る五十嵐さん

スタッフのみなさんは、やっていて良かったと思うことがたくさんあるそうです。放課後子ども教室に参加する子どもたちは、多くの方たちに温かく見守られています。

「スタッフ会議」を開いています

放課後子ども教室のスタッフは、学校ごとに「スタッフ会議」を行っています。日頃の子どもの様子、安全管理のための情報交換や運営上の課題などについて、熱心に話し合っています。

● **子どもたちに同じ声かけができるように**

ある日、校舎に向かってボールを蹴っている子どもにスタッフが注意をすると、「スタッフさんが“ここだったら蹴ってもいいよ”って言ってたもん！」と答えたそうです。そこで、子どもへの注意の仕方や声のかけ方が違うのはよくないとのことで、スタッフ会議でルールの確認をすることになりました。

このようにスタッフ全員が子どもたちに同じ注意や指示を出せるよう、スタッフ会議で再確認しています。



みんなで真剣に話し合います

● **ケガの再発防止にも役立っています**

子どもたちは、毎日、校庭や体育館で思いきり体を動かし、元気に活動しているので、すり傷や打ち身などの軽度なケガが起きることもあります。しかし、このような時でも、「ケガが起きた原因はなにか？その際の処置は適切だったのか？」などについてスタッフ会議で確認しています。スタッフ全員が、ケガの処置ができるよう応急処置の研修を受けていますが、スタッフ間で共通認識を持つことで、再発防止にも努めています。



● **会議で解決できなかったことは、学校に相談しています**

スタッフ会議では“子ども同士のトラブルの対応に困った”という話がよくあります。そんな時は学校にスタッフ会議の報告をするとともに相談し、アドバイスをいただくこともあります。「時には学校も一緒にトラブルの対応をしてもらえるので大変心強いです」と、スタッフが話してくれました。スタッフ会議で日々の活動を振り返ることを行っているからこそ、スタッフ全員が同じ気持ちで見守ることができ、子どもたちの安全・安心な居場所が確保できるのです。



活動中の子どもの様子を報告します

スタッフを募集している放課後子ども教室があります。詳しくは下記までご連絡ください。

問い合わせ (公財)足立区生涯学習振興公社 放課後子ども教室担当
☎5813-3732 (平日 午前9時～午後5時)